

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【公開番号】特開2008-17871(P2008-17871A)  
 【公開日】平成20年1月31日(2008.1.31)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-004  
 【出願番号】特願2006-189603(P2006-189603)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Q

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月8日(2009.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を貯留する受け皿と、前記受け皿の下流側に設けられ、前記受け皿に貯留された遊技球を所定数取り込む取込手段と、前記取込手段を作動させるべく操作されるベット操作手段と、前記ベット操作手段の操作に基づき前記取込手段を作動させると共に前記取込手段が所定数の遊技球を取り込むことに基づき前記取込手段を停止させる取込制御手段とを備えた遊技機において、

前記取込手段が、上下方向に延びる取込通路と、前記取込通路に導入された遊技球を検出するメインセンサと、前記メインセンサよりも下方に設けられ、前記取込通路に導入された遊技球を検出するサブセンサと、前記取込制御手段にて駆動制御され、前記メインセンサよりも上方で前記取込通路への遊技球の流下を規制する開閉部材とを有し、

前記取込制御手段が、前記メインセンサによる遊技球検出数を計数する第 1 の計数手段と、前記サブセンサによる遊技球検出数を計数する第 2 の計数手段と、前記第 1 の計数手段が計数した前記メインセンサによる遊技球検出数と前記第 2 の計数手段が計数した前記サブセンサによる遊技球検出数を照合して一致していないことに基づき取込エラー制御を行う取込エラー制御手段と、前記メインセンサによる遊技球検出結果に基づき前記サブセンサによる遊技球検出数が前記第 2 の計数手段にて計数される計数可能状態を発生させる一方、前記メインセンサの遊技球検出結果が得られてから所定期間経過することに基づき前記計数可能状態を終了させ、かつ、前記所定期間経過前であっても前記サブセンサが遊技球を検出した場合には、前記第 2 の計数手段に前記サブセンサによる遊技球検出数を増加させると共に前記計数可能状態を終了させる計数制御手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記計数可能状態における前記サブセンサの遊技球検出結果に基づいてのみ前記第 2 の計数手段が前記サブセンサによる遊技球検出数を増加させ、前記計数可能状態と異なる非計数可能状態における前記サブセンサの遊技球検出結果に基づいては前記第 2 の計数手段が前記サブセンサによる遊技球検出数を増加させない請求項 1 に記載の遊技機。

## 【請求項 3】

前記計数制御手段が、

前記計数可能状態の継続し得る所定期間を計測する計時手段と、

前記メインセンサの遊技球検出結果に基づき前記計時手段を作動させる計時作動手段と

、

前記サブセンサの遊技球検出結果に基づき前記計時手段が作動しているか否かを判定する計時作動判定手段と、

前記計時作動判定手段による前記計時手段が作動しているとの肯定判定に基づき前記計時手段を停止させる計時停止手段と、

を備え、

前記第 2 の計数手段が、前記計時作動判定手段による前記計時手段が作動しているとの肯定判定に基づき前記サブセンサによる遊技球検出数を増加させる請求項 1 に記載の遊技機

。

## 【請求項 4】

前記計数制御手段が、

前記計数可能状態の継続し得る所定期間を計測する計時手段と、

前記メインセンサの遊技球検出結果に基づき前記計時手段を作動させる計時作動手段と

、

前記計時手段の作動・非作動に関する計時情報として差分情報を格納する計時情報記憶手段と、

前記サブセンサの遊技球検出結果に基づき前記計時手段が作動しているか否かを判定する計時作動判定手段と、

前記メインセンサの遊技球検出結果に基づき前記差分情報に対して加算更新処理を行う加算更新機能、前記メインセンサの遊技球検出結果が得られてから所定期間経過して前記計時手段が停止することに基づき前記差分情報を初期化して初期情報に更新するリセット処理を行うリセット機能、および、前記計時作動判定手段による前記計時手段が作動しているとの肯定判定に基づき前記差分情報に対して減算更新処理を行う減算更新機能を有する計時情報制御手段と、

前記計時情報制御手段の前記減算更新処理により前記差分情報が前記初期情報に更新されることに基づき前記計時手段を停止させる計時停止手段と、

を備え、

前記第 2 の計数手段が、前記計時作動判定手段による前記計時手段が作動しているとの肯定判定に基づき前記サブセンサによる遊技球検出数を増加させる請求項 1 に記載の遊技機。

## 【請求項 5】

前記計数制御手段が、

前記計数可能状態の継続し得る所定期間を計測する複数の計時手段と、

前記計時手段を作動させる計時作動手段と、

前記複数の計時手段の各々の作動・非作動に関する複数の計時情報を格納する計時情報記憶手段と、

前記メインセンサの遊技球検出結果に基づき、前記複数の計時手段のうち非作動の計時手段の中から前記計時作動手段により作動させる計時手段を選択する第 1 の計時選択手段と、

前記サブセンサの遊技球検出結果に基づき前記複数の計時手段の各々が作動しているか否かを判定する計時作動判定手段と、

前記複数の計時手段の各々を停止させる計時停止手段と、

前記計時作動判定手段による前記複数の計時手段のいずれかが作動しているとの肯定判定に基づき、前記複数の計時手段から前記計時停止手段により停止させる計時手段を選択する第 2 の計時選択手段と、

計時情報記憶手段に格納された前記複数の計時情報のうち前記第 1 の計時選択手段が選

択した計時手段に対応する計時情報を当該計時手段が非作動であることを表す非作動情報から当該計時手段が作動していることを表す作動情報に更新する一方、前記計時情報記憶手段に格納された前記複数の計時情報のうち前記第 2 の計時選択手段が選択した計時手段に対応する計時情報を前記作動情報から前記非作動情報に更新する計時情報制御手段と、を備え、

前記第 2 の計数手段が、前記計時作動判定手段による前記複数の計時手段のいずれかが作動しているとの肯定判定に基づき前記サブセンサによる遊技球検出数を増加させる請求項 1 に記載の遊技機。